

ひびき

発行・編集責任者／取手市議会議長 佐藤隆治
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
 ファクス 0297-74-1990
 ホームページ <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
 e-mail gikai@city.toride.ibaraki.jp



取手市議会だより第213号
 2016(平成28)年1月15日発行

<紙面から>

取手市議会は、平成27年11月27日から12月11日まで平成27年第4回定例会を開催しました。今定例会では、市のまちづくりの基本的な理念となる第六次取手市総合計画の基本構想が提出されました。また、11月に行いました議会報告会での参加者との意見交換をもとに、市政要望書を市長に提出しました。今定例会は現在の議員任期最後の定例会でありました。1月24日(日)には、取手市議会議員選挙が行われます。皆さん投票に行きましょう!

市民の意見を市政へ！ 市政要望書提出！

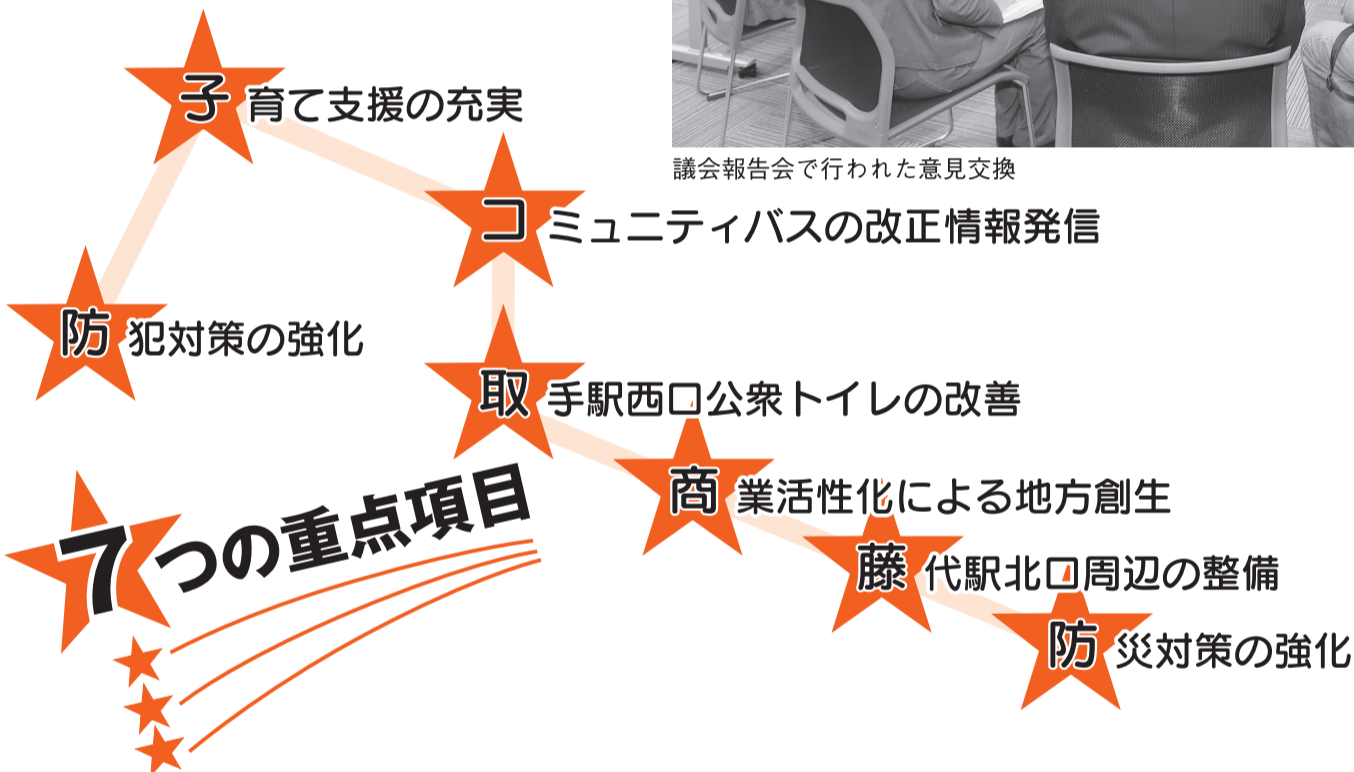
議会報告会で出された意見・要望から7つの重点項目を市へ要望し、検討結果を求めました。



議会報告会で行われた意見交換

重点項目を決定

取手市議会では議会基本条例に基づき、議会報告会を年2回開催しています。平成27年第2回議会報告会では、参加者の皆さんと意見交換を行いました。その際に寄せられた市政に対する意見・要望をもとに総務文教・福祉厚生・建設経済の各常任委員会で調査・検討した結果、7つの重点項目を決定し、市政要望書を作成いたしました。



市長に提出

作成した市政要望書は、定例会最終日の平成27年12月11日、佐藤議長から藤井市長に手渡しました。議長は重点項目を1つずつ読み上げ、その処理経過や検討結果について、平成



佐藤議長(左)と藤井市長(右)

回答を求める

現在の取手市議会議員は平成28年2月14日をもって任期満了となります。今回の重点項目に対する処理経過や検討結果の回答は、平成28年1月24日執行の取手市議会議員一般選挙

28年3月15日までに回答するよう市長に求めました。市長は、「議会の皆さまからの重点項目につきまして、しっかりと受け取らせていただきます。期日までにしっかりと検討させていただきます。」と述べ、市民と議会の思いを丁寧に受け取りました。



今回市長へ提出した市政要望書は取手市のホームページから閲覧・ダウンロードができます。
 ホーム > 市政情報 > 市議会 > 「市議会」のトピックス > 議会報告会での意見を市長に提出

で選ばれた改選後の取手市議会に返され、検証を引き継ぎます。また、市民の皆さんには、検討結果や処理経過について、市ホームページや本紙議会だより「ひびき」でお知らせするほか、次回議会報告会時にもご報告いたします。

Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、21人の議員が一般質問を行いました。

冠水被害の 抜本解決を！

鈴木 潔 議員



冠水したカスミ取手店周辺

問 9月10日の豪雨時、市内各所にある樋管を閉鎖し、移動ポンプによる強制排水では内水排出は追いつかず、青柳、吉田、東地域は冠水した。樋管を閉めた連絡漏れがあったと聞くが、消防長 連絡漏れがあった。再発防止に努めたい。

問 長町排水樋管に設置する国交省から借りたポンプだけでは、排水処理しきれない。抜本的な対策のため排水機場の設置を求める。

建設部長 排水機場設置は何十億も掛かるため、とにかく来年の冠水被害をなくすために、即効性のあるものを探している。

問 どのような対策か。

答 国に現在の6倍の排水ポンプ車の配置や導入補助を求めるなど考えている。

対策を 青柳地区の雨水排水

吉田 宏 議員

問 カスミ取手店周辺の地域は、雨が降ると冠水し、床下浸水等が度々起こる。豪雨によって利根川などの水位が上昇すると、河川からの逆流を防ぐため、井野雨水幹線流末の長町排水樋管が閉鎖される。閉鎖によって自然流下ができなくなり、内水による道路冠水が発生する。対応策は。

建設部長 排水ポンプの能力向上が一番。また、一定期間、内水をためることができると調整池などが必要であり、雨水排水量を抑制する対策を検討している。

建設部次長 生活排水を浄化槽から側溝ではなく、公共下水道に接続していただくだけでも軽減できる。下水道組合と再度、連携する。

問 ほかの抑制策は。

答 雨水排水抑制のための浸透建築造への補助がある。今後は、貯水槽設置の補助を考えていきたい。

問 国土交通省所有の排水能力の高いポンプ車を常備できないか。

建設部長 配置要望書を国に提出することを検討。

問 そのポンプ車を市独自に導入した場合の経費は。

答 国が購入した当時は約5000万円の購入費と年二、三百万円の維持管理費。

市営住宅に 民間賃貸住宅の利用を！

染谷 和博 議員

問 埼玉県春日部市は、民間賃貸住宅を借り上げ、市営住宅としている。市としては建築費等の大幅縮減などのメリット。事業者側は全戸が借り上げられ安定した収入を得ることができると。取手市の今後の対応を伺う。

建設部長 市としてもURや空き部屋の活用を視野に入れて検討している。

問 市営住宅を建て替える予定はあるのか。

答 具体的にはない。



台宿雇用促進住宅

問 井野団地や戸頭団地にかなり空きがある。活用を。

答 4階、5階など高層部には空きが多く、エレベーターなどバリアフリーの壁があるため不適と考える。

問 雇用促進住宅が廃止予定だが、現居住者の転居先として対応できる公的住宅はない。市営住宅を増やす予定は。

答 市営住宅増設の予定はない。

問 若い世代を呼び込むため、住宅取得への支援は。都市整備部長 住宅取得者等への支援を検討している。

死守せよ 待機児童ゼロ

齋藤 久代 議員

問 待機児童ゼロを、将来にわたって死守せよ。健康福祉部長 保育士不足による待機児童が出てくる。そこを目指して、できることから行っていきたい。



問 取手市への子育て世代の評価がいま一步と感じている。人口減少に本気で取り組みなければならぬ。

答 こども発達センターや保育士の配置基準など、他の自治体よりも手厚く実施しているものは多い。しかし、PRが不足している。今年度は子育て支援ビデオを作成、来年度は子育てハンドブックも完成させたい。

問 シニアパワーを子育て支援事業に何らかの形で参加させ、セカンドライフを充実させるなど人材活用を。

答 高齢者に子育てに関わる就労支援などを考えている。

問 シティプロモーションマネージャー採用による、選ばれるまちへの思いは。政策推進部長 11月に採用したマネージャーに期待。

医療費は 高校生まで無料に

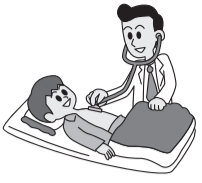
平 由子 議員

問 福島などでは、子ども
の健康状態把握のため、検
査をして甲状腺がんを発
見。最先端の技術を駆使し
ながら助かってもらいたい。
保険を適用し、高校生まで
医療費を無料に。

市長 ゼロ歳から小学校6
年生までの外来医療費と、
中学3年生までの入院の医
療費を助成している。

取手市では、マル福制度
とは別に、中学生の外来医
療費助成や所得制限により
マル福の制度を受けられな
い小学6年生までの医療費
助成をぬくもり医療支援事
業として行っている。また、
医療費助成は、平成26年、
中学3年生まで拡充した。

医療費の助成は、県下統
一された制度で実施される
ことが望ましいと考え、マ
ル福の拡大を要望している。
健康福祉部長 がん免疫療
法薬、遺伝子治療が保険診
療を認められていないのは、
厚生労働大臣が設置する専
門家会議において許可され
ていないと判断している。



8月に開所した取手市防犯ステーション

充実を！ 安全・防犯対策

石井 めぐみ 議員

問 8月に取手市東に防犯
ステーションが開所した。
これまで藤代駅周辺に交番
設置を求める要望や質問を
してきた。防犯ステーション
の今後の計画は。

副市長 設置効果の検証を
踏まえ、検討していきたい。

問 藤代地区でも警察官O
Bやスクールガードなど地
域の方々の役割を理解し、
市民とともに進めてほしい。
総務部長 考えていきたい。
問 小中学校への防犯カメ
ラ設置促進を。

教育部長 全小学校に緊急
非常通報システムを導入し
ている。これに代わるもの、
補うものを検討している。

問 通学路安全点検後の危
険箇所への対応は。

学務給食課長 すぐに対応
できるもの、予算が必要な
ものなど検討し、優先順位
を決めて実施。

問 見守りスクールガード
などのボランティア団体に、
防犯ベストの作成等への補
助導入を。

総務部長 設立時に1団体
5万円を補助している。
安全安心対策課長 取手市
防犯連絡協議会から提供す
ることもある。



国道294号線 白山八丁目交差点

稲小通学路工事を 万全に

渡部 日出雄 議員

問 稲小通学路の拡幅工事
が始まったが、事故が発生
しないよう安全対策を求め
る。登下校時などの安全対
策を伺う。

建設部長 作業時間は9時
から17時まで。全面通行禁
止とし、自転車、歩行者の
通行帯を設ける。また、交

通誘導員も配置する。夜間、
休日は工事箇所にはバリアを
張り、安全確保に努める。

問 中央タウンの稲小防犯
パトロールチームへの事前
説明がなかったと聞くが。

建設部次長 代表者と調整
させていただいた。
問 取手郵便局横の旧県道
改良工事はどうなるのか。

答 郵便局前の現在の信号
が廃止され、新しい丁字路
に移設する。現在、工事を
発注した。

危機的状況… 取手市の子どもの貧困

池田 慈 議員

問 取手市の子どもの貧困
率は、危機的な状況と考え
る。市が実施している子ど
もの貧困対策は。

健康福祉部次長 生活困窮
者への自立相談窓口を開設。
世帯主が職を失った際の住
宅支援、貸し付けなどある。
また、子どもに対しては学
習支援を考えている。

問 全国学力テストの結果
と世帯収入を見ると、収入
が多い世帯の子どものほど学
力が上がっている。要保護、
準要保護世帯への就学援助
が十分でない。

学務給食課長 取手市は所
得を基準として対象にして
いるため、収入を基準とし
ている自治体よりも対象と
なる割合を高くしている。

問 周知も足りない。
答 新たに子育て支援課に
児童扶養手当の現況届を提
出した際、窓口にて説
明していく。また、ホーム
ページの改善も検討する。

問 桜が丘小子どもクラブ
は1部屋しかない。改善を。
教育部長 何とかしたく、
余裕教室等での対応を検討。

問 学習アドバイザーを各
クラブに1人の配置を。
答 検討したい。

正規職員保育士の増が 待機児童ゼロに

加増 充子 議員

問 待機児をゼロにしてい
くためには、正規職員の保
育士を増員しなければ解決
しない。

健康福祉部長 正規職員だ
け増やせば解決するもので
はない。全国的に保育士不

足が根本にある。また、子
育て支援制度によって保育
条件が緩和され、申込者が
急増している状況もある。

問 待機児をこのまま放置
せず、即、入れるような体
制を取るべき。
答 いろいろな方法を今、
講じている。

問 吉田、舟山保育所を旧
一中跡地で統合するのは尚
早である。保護者の声を聞
いたか。
子育て支援課長 保護者説
明会を行い、反対の意見は
なかった。

問 問題山積の戸頭東保育
園。民営化法人の評価を見
誤った責任は取手市にある。
その失敗を検証せず法人の
移管替えでは同じ過ちを繰
り返す。直ちに公立に戻せ。

健康福祉部長 公立には戻
さない。選定委員会ですつ
かり審査して移管する。



白山保育所



昨年9月の大雨時の常総市役所周辺

どう生かす？ 鬼怒川堤防決壊

遠山 智恵子 議員

問 9月10日の鬼怒川堤防決壊は、旧藤代地域の住民にとって人ごとではない。市として、どのように今後の教訓とするのか。

副市長 災害には莫大な経費が掛かる。いつ起きるかわからない災害に備え、基金を積み立てておいたり、危機管理を頭に入れながら対応している。

問 小貝川の危険重要度Aランクへの対応を早急に。建設部長 堤防本体ではなく、付属するものや文巻橋の高さ不足について、国が改修の優先順位を公表している。実施時期を早めるよう要望を続ける。

問 藤代地域の排水問題は、北浦川改修が要。改修の進行状況は。

答 相橋から常磐線までの用地交渉、工事を実施。
問 総合計画に防災ラジオの導入がある。いつ導入。総務部長 導入に向けて事務を進めている。

双葉団地内 ゾーン30を有効に

阿部 洋子 議員

問 双葉団地内は、ゾーン30（生活道路の安全確保のため、最高速度を30キロに規制し、路面標示を整備して、通過交通や速度抑制を図る）関連工事として、U字溝を含む道路改良工事が行われている。しかし、地域住民でない通過車両は、今もスピードを出して抜け道として利用している。久賀小通りと中央通りの交差点に信号機設置を。

市長 ゾーン30にしたが、死亡事故を含む重篤な事故が多発し、問題視している。県公安委員会に三灯信号機設置を要望していく。
安全安心対策課長 双葉団地の皆さまには、のほり旗の設置、雨天時は片付けるなど、大変協力をいただいている。交差点に色を塗るので、事故の減少に期待をしている。

問 やむを得ない策として、交通取り締まりを提案する。

答 信号機設置と併せて要望していきたい。

問題はなかった？ かたらいの郷

小池 悦子 議員

問 かたらいの郷利用者に、疥癬感染者が発生し、

浴場などの一部施設利用を中止した。利用者への対応策は。

健康福祉部参事 市内のかたらいの郷に乗り入れるバスやバス停にチラシを掲示。相談者には適切な治療方法や医療機関を紹介した。

問 市の責任者として、施設の衛生管理をどう考える。

答 第一報の際、直ちに保健所にも連絡し、衛生管理上問題ないと受けている。

問 脱衣所のマットや広間の畳は気にならなかったか。

答 マットはこまめに替えていた。畳も全部交換する。

問 疥癬は感染力が弱く、広がりや予測しなかった判断で間違いないか。

答 ノルウエー疥癬であれば感染力が高いので非常に問題だが、通常疥癬は水虫など、どこでもかかり得る病気。念を入れて予防する。

問 夜眠れないほどのかゆみなど、病気を患ってしまった人たちへの責任は。答 責任を持って利用中止をした。無責任にやっているわけではない。

戸頭住民との約束を 果たせ！

関戸 勇 議員

問 昭和58年に戸頭公民館は、住民参加型で市との協



戸頭駅へ向かう歩道

**安全・安心のまち
取手のために…**
山野井 隆 議員

問 街路灯設置数や要望の状況は。

建設部長 市内に1万200灯のLED防犯灯がある。今年度は47基の要望があり、17基を設置。8基が設置基準以下。22基が年度内に順次設置予定。

問 不審者情報と設置要望を連動させるべきでは。

管理課長 検討していく。

問 取手駅西口公衆トイレのリニューアルを。

まちづくり振興部長 朝夕1回ずつ清掃を実施。設置後28年経過しているのので、駅前広場等の開発時に協議していきたい。

問 以前、トランス脂肪酸を含むマーガリンを学校給食から排除を求める質問を行った。現状は。

教育長 提供していない。

問 戸頭駅前、国道下のトンネルが暗い。対応を。

答 水銀灯は4年周期で交換しているが、経年劣化により照度が低い印象。水銀・蛍光灯廃止の話もあるので国の動向を見ながらLEDに替えていきたい。



新規就農者増には 研修制度の充実

飯島 悠介 議員

問 農産物直売所 夢とりでは、農業と食を発信する大事な拠点である。現状と今後の課題は。

答 まちづくり振興部長 J A と取手市で都市農業振興協議会を立ち上げ、出荷者向け講習会、収穫体験や健康相談を行った。今後もソフト面を充実し、地元物を多くそろえるよう努める。

問 ここ数年の市内での新規就農者数は。

答 農政課長 レンコン生産販売、農家レストランの2人。

問 新規就農者支援状況をホームページで発信を。

答 立ち上げていきたい。

問 農家の皆さんに育成研修を受け入れていただくなど、新規就農者の受け入れで大切なことは、研修制度の充実。今後の考えは。

答 先進地等を見ながら実施に向けて検討していきたい。

問 農業公社への要望は。まちづくり振興部長 田植えから管理、稲刈りまで全てを委託する要望がある。



取手駅西口

改善を！ 取手駅西口ロータリー

川又 貞男 議員

問 取手駅西口ロータリー、特にエスカレーターを降りた場所は狭く、送迎車によって混雑する。改善を。

答 都市整備部次長 交通広場を広げていく。その中で、一般待合車両のスペースも確保できるように検討していく。

問 水戸駅などは20分程度無料で駐車できるスペースを設けている。同様のスペースを。

答 都市整備部長 停車ではなく、駐車スペースは難しい。ウェルネスプラザ駐車場は

毎週土曜日開設 放課後子どもクラブ

入江 洋一 議員

問 市放課後子どもクラブは、働く親に安心を与える。現在の運営状況を伺う。

答 教育部長 小学生全学年を対象に、市内全15校に設置



放課後子どもクラブ

し、1841人の児童が登録している。

問 また、運営は全て市直営で実施している。

答 他市の運営状況は。スポーツ生涯学習課長 県内には691カ所開設され、直営が363カ所、公設民営が240カ所、民設民営が88カ所。

問 今後の市の運営方針は。

答 直営で運営していく。

問 支援員の数は。

答 107人を任用し、ローテーションを組み、常時約84人の方に従事いただいている。

問 毎週土曜日も一日開設を。

答 支援員の配置体制等課題もある。国の基準や条例で定めている年間250日以上開設を目指して考えていきたい。

消防団に 必要備品の整備を

岩澤 信 議員

問 昨年9月の大雨時も、市職員、消防関係の皆さんは、昼夜問わず活動している。消防団に現場活動に必要な装備や備品の整備を。

答 消防本部総務課長 今後、救命胴衣を追加支給し、無線機や救助器具を整備していきたい。

問 大雨時の自主防災会の活動を把握しているか。

答 安全安心対策課長 87の自主防災会には、災害用携帯電話を配備し、市からの情報をいち早くメール等でお伝えする。それにより、地区内の見回りや要配慮者への声掛け、冠水状況などを市の災害対策本部に連絡をいただいている。

問 常総市の鬼怒川決壊を見て、市の今後の水害等への対策は。

答 総務部長 市の区域を越えた形での避難なども考えていかなければならないと感じている。

妊娠期から 切れ目のない支援を

落合 信太郎 議員

問 福祉国家フィナンランドで絶大な信頼を誇る妊娠期から満6歳まで切れ目の

ない子育て支援制度「ネウボラ」は、日本版ネウボラとして今年度150の市町村でスタートが予定されている。育児や子育てに関する全ての支援、相談を一つの場所で行えるようにし、育児ノイローゼや児童虐待の早期発見にもつながる。取手市においても実施を。

問 健康福祉部長 約3年前から妊娠届の際に記入する妊娠サポート表で支援が必要な家庭の早期発見を行い、保健センターと子育て支援課の保健師が連携して支援につなげている。子育て支援センター、子育て支援課窓口の機能を強化して、取手版ネウボラとする方向で進んでいきたい。

問 ネウボラのポイントは窓口が一つになることで、ここに行けば何でも相談に乗ってくれるという安心感がある。市の考えは。

答 行った先でしっかりと相談できるかが大切なことと考え、専門職を窓口配置して対応していく。



取手駅西口 歩道の改善を

結城 繁 議員

問 ウェルネスプラザ開館後、利用者から改善を求められていることはないか。
健康福祉部長 障害者用トイレにおむつ替えベッド設置要望があり、進めている。
問 A街区に関し、地権者とのアンケートをこれから行うようだが、基本的には共同化を進めていくのか。
都市整備部長 地権者にとつてどういう形が一番メリットがあって、そして、持続可能となるのかなどを検討しながら進めていく。
問 取手駅西口や国道6号線の横断歩道のインターロッキングがひどい状況。早急に改善を。



取手駅西口ロータリー

管理課長 ボックスヒルの前が一番の問題箇所と考え、予算と照らし合わせて検討していきたい。

問 取手駅東西自由通路の完成によってウェルネスタウン構想は完結する。基金をつくるなどして、自由通路整備を進めるべき。
都市整備部長 現在は、東

口のバリアフリー化、エレベーター整備を中心にJRと協議を進めている。A街区の形が見えてくれば、次は自由通路の検討ができると考えている。

いじめゼロを 目指せ！

倉持 光男 議員

問 子は国の宝。いじめのない学校確立を。過去のいじめ事件から様々な事業を

展開している滋賀県大津市を視察した。取手市のいじめ認知件数は。

指導課長 平成26年度、小学校82件、中学校30件。27年度4月から7月で小学校20件、中学校11件。

問 さまざまな原因があるが、不登校の児童・生徒の数は。

答 小学校10人、中学校51人。

問 問題発覚時の体制は。
答 内容確認後、児童生徒への指導、解決に向けた対応、教育委員会への報告体制を取っている。

問 勤務評定に差し支えるとして先生が隠さぬ体制は。

答 教員が一人で抱えないようチーム学校の考え方で指導。保護者との情報共有方法など研修を実施。
問 いじめ防止対策法に基づいた市の責任の考えは。
政策推進部長 教育委員会と連携して行っていきたい。

問 いじめ防止啓発活動は。
指導課長 大津市を参考に新たな事業を検討したい。

問 市独自のいじめ防止条例制定を。
市長 形式的な条例ではなく、総合教育会議の中で研究していく。



ウェルネスプラザにて 議員研修会を実施！

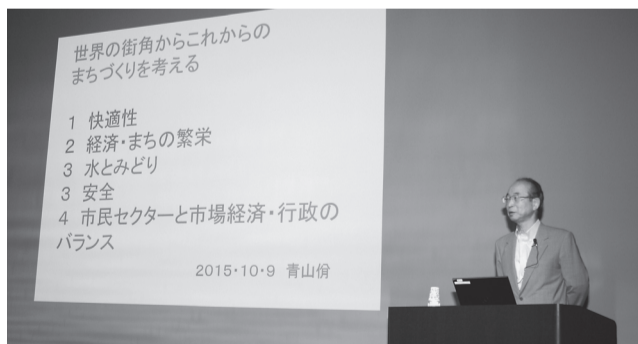
取手市議会では、議会基本条例に議員研修の充実強化を規定しております。去る、平成27年10月9日に議員研修会を開催しました。

今回の議員研修会は、市制施行45周年及び取手ウェルネスプラザの開館を記念して、県・市・町議会議員の方や多くの市民の方にもご参加いただき、取手ウェルネスプラザ多目的ホールにて議員研修会を開催しました。

明治大学公共政策大学院教授 青山 侑氏をお招きし「世界の街角からこれからのまちづくりを考える」をテーマに講演していただきました。



約200人の参加のもと開催された議員研修会



青山 侑氏

講演では、青山先生の東京都副知事時代の体験談や現在の取り組みなどを交え、様々な角度からまちづくりについてお話ししていただきました。

質疑応答では、参加者から「茨城県はなぜ魅力度ランキングで最下位なのか」等、多くの質問が挙がり、青山先生からは、茨城県の魅力についての考え方や、他市の事例などを聞いてわかりやすくご回答いただきました。大盛況のうちに幕を閉じました。

解散 駅北特別委員会

取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会は、平成24年9月26日に取手駅北土地利用構想に基づいた事業の円滑な進捗を図るための調査研究を目的として設置されました。金澤委員長のもと平成26年2月17日まで運営され、その後、山野井委員長が後任を務め、神奈川県川崎市や海老名市への視察など、委員会を全22回開催し、平成27年12月11日に解散いたしました。

〔委員会報告〕

今後、交通結節機能を担う交通広場等、土地画整理事業の基盤整備と土地利用が一体となったまちづくりの早期進行に努め、ウェルネスプラザを核として持続可能な中心市街地の活性化が図られるよう期待する。



ウェルネスプラザ視察の様子

市長提出議案

取手市議会は議会基本条例により、議員間の公平で自由な議論を尽くすため、1議題につき3回まで討論を行うことができることとしています。

これまで1回目の討論を発言しない議員は2・3回目の討論はできないものとしてきましたが、今定例会から2・3回目からの討論発言を認めることとしました。

●取手市都市公園条例の一部改正：可決

とがしら公園テニスコートを人工芝に改修することに伴い、使用料を改定するもの。

〔討論〕

関戸議員：テニスコート改修は喜ばれているが、使用料改定には反対。また、申込者の市内・市外在住による区別をなくすべき。反対。
石井議員：市民のスポーツ振興が図られ、利用者増加も見込まれる。利用者からは使用料改定に理解するという意見がある。賛成。



とがしら公園テニスコート

●取手市農業委員会の委員の定数等を定める条例の一部改正：可決

農業委員会の委員の選出方法が改められるとともに、農地利用最適化推進委員の新設に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

〔討論〕

平議員：国民の命を守るために人の言うことを聞いて保身をはかって、お金をもらってればそれで済むという問題ではない。反対。
遠山議員：市町村長の任命制に変えれば恣意的な選任になりかねない。農家の代表機関としての権限をなくし、行政の下請け機関に变质させるもの。反対。

倉持議員：推進委員の任務は耕作放棄地の解消を目指す大変大きな役割。市の農地を荒らさないために、この改正で推進委員の積極的な活動に期待する。賛成。

遠山議員：耕作放棄地の解消、後継者不足問題、米価

大暴落など、農家の立場に立った建議を行ってきた。改正で委員会の変質に危惧する。公選制を生かして委員会活動してほしい。

委員が8人減るが、うち認定農業者は2人増える。委員会としての役割をさらに細分化し、より活発な委員会活動に期待する。

遠山議員：地域で認定農業者の方が立候補すれば選挙は可能。建議はこれまで法律で決められていたが、任意になることにより後退する。公正性がなくなる。

倉持議員：認定農業者の枠を義務付けたことにより、現在市内に58人いる認定農業者の約1割が委員になる。農業に対する大きな前進と考える。

福祉需要の増大・健康福祉施策の多様化を踏まえ、より効果的に行政課題に対応することを目的に、健康福祉部を福祉部及び健康増進部の二部体制にするもの。



取手グリーンスポーツセンター

●指定管理者の指定：可決

取手市立取手グリーンスポーツセンターの効果的な管理運営のため、指定管理者を指定するもの。

〔討論〕

小池議員：市民から要望が上がっても、十分に改善されないという意見があり、サービスが低下する。社会教育施設として市管理による公的運営を求める。反対。
入江議員：利用している市民からスタッフの対応や事

が、福祉部も健康増進部も連携を取り、2つの部があることでの相乗効果を期待する。賛成。

市村議員：健康に対する強い意識とやる気があるが、二部体制が効率的な運営を生み、時代に合った組織改革と考える。横の連携をより強くすることを切に願う。賛成。

業内容の充実など評価されている。黒字経営の実績があり、財政負担が軽減される。賛成。

①取手市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例：可決

番号法制定を踏まえ、特定個人情報について、行政組織内において情報の連携を行うもの。

②取手市税条例等の一部改正：可決

市税の猶予に関する制度について、国税の猶予制度の見直しを踏まえて同様に整備し、番号法の施行にあわせて法人番号に関する規定を整備するもの。

③取手市介護保険条例の一部改正：可決

番号法制定を踏まえ、介護保険料の徴収猶予及び減免に係る申請書の記載事項に個人番号を追加するもの。

〔討論〕

齋藤議員：さまざまな事情で滞納せざるを得ない状態の納税者に一筋の望みを与える効果が期待される。これまでも職員が丁寧に一生懸命対応しているが、今後は周知も徹底し、寄り添った相談の継続を願う。①に賛成。

平議員：マイナンバーは社会保障・税・災害対策の三分野だけで利用するはずだったが逸脱している。今、なぜマイナンバーをやらな

ければならないのか分からない。①③に反対。

関戸議員：取手市や他の自治体でもマイナンバーの問題が起きている。法制化やさまざまな仕組みについて大問題になる。①に反対。

市村議員：既にもう個人番号はサーバに保管され、通信業者など管理会社が保有している。市でもそのような情報だということをしつかりと認識し、不正取得や自ら流出しないよう、万全を期して管理することを願う。①②に賛成。

●平成27年度一般会計補正予算：可決

〔討論〕

鈴木議員：マイナンバー制度により、個人情報が集積され、サービス抑制、税の徴収強化につながることを考えられる。税金を使うことには同意できない。反対。
落合議員：市民向け動画を作成し、市の魅力と誇りを再確認していただく。教育補助員の配置で円滑な学校運営が図られる。民間幼稚園への市有財産の貸し付けは、魅力ある子育て環境の充実に期待。賛成。

次回は
2月15日(月)に
臨時会を
開会予定



取手市を上空から撮影

●第六次取手市総合計画の基本構想を定めること…可決

〔討論〕

遠山議員：どういうまちを
目指すのかつかみにくい。

前計画にあった家賃補助
制度が削除された。また、
農業や商店、中小企業支援
よりも農地の集積、大規模
企業支援に力を入れる施策
は納得できない。反対。

吉田議員：これまでの計画
と全く違い、新しい考え方
で先進的。総合計画に基づ
くまちづくりを進め、さら
なる発展を期待。賛成。

染谷議員：市長のマニフェ
ストと連動させ、重点的に
取り組むテーマを明確にし、
重点施策・事業を定め、選
択と周知を行い実効性があ
る。社会状況の変化に速や
かに対応できる計画。賛成。

飯島議員：計画を立てて終
わりでは持続可能な自治体

6つのまちづくり基本方針

- ・健やかで、安らぎと温もりのあるまちづくり
- ・豊かなところと個性を育むまちづくり
- ・活気と魅力あふれる元気なまちづくり
- ・都市と自然が調和した環境のまちづくり
- ・快適で、安心できるまちづくり
- ・自主・自律、未来をひらくまちづくり

運営はできない。計画の基
本構想をもとに、市長、副
市長を筆頭に職員が一丸と
なり豊かな営みを守り育て
ていくことを求める。賛成。

池田議員：基本構想の将来
都市像が実現すれば、高齢
者や子どもなど誰もが住み
やすいまちになる。特に自
然環境の適切な保全、管理、
活用してほしい。賛成。

関戸議員：これまで貴重な
自然環境が次々に奪われて
きた。家賃補助制度は10年
後、20年後を考えたときに
大事な施策。この基本構想
では不十分。反対。

市村議員：既に豊かな自然
と恵まれたインフラ環境整
備が整っている。PRを強
力に推進して取手の発展を
実現してほしい。賛成。

結城議員：駅周辺地区の拠
点向上等、都市機能の集積
を含めて道路や公園などの
魅力ある都市空間整備を進
めることを評価する。賛成。

議員提出議案

●取手市議会基本条例の一
部改正（会派の構成人数は
2人以上とするもの）…可
決

〔提出者〕

赤羽議員他5人

●取手市議会基本条例の一
部改正（会派の構成人数は
1人以上とするもの）…否
決

〔提出者〕

池田議員他3人

〔討論〕

結城議員：議会基本条例制
定時に1人も会派として尊
重し、少数意見も大事にし
ようという話し合いの経緯
があったはず。1人は団体
ではないという問題は条文
を変えればよい。条例の目
的に沿って運用されていた
か検証すべき。会派を2人
以上とすることに反対。

飯島議員：多様な意見をど
う集約、発展させていくか
という視点を大切にするな
らば、1人の議員活動を会
派という安易なくくりで妨
げてはいけない。会派を1
人以上とすることに賛成。

遠山議員：今までの議会運
営で1人会派を認めていた
が、何ら不都合はなかった。
取手市議会の議会改革を
さらに進めたい。会派を1
人以上とすることに賛成。

●政治倫理条例の一部改正
取手市政治倫理審査会
の会議を、原則公開とする
もの。

●議会会議規則の一部改正
議会における質問の方法
は全て一問一答の方法のみ
とするもの。

●議会委員会条例の一部改
正

市議会議員定数の減に伴
い、常任委員会の定数を改
正するもの。

※いずれも原案可決・提出
者は赤羽議員他7人

意見書

●消費税10%への再増税中
止を求める意見書…可決

〔提出者〕

遠山議員他2人

〔討論〕

加増議員：増税によって国
民の負担増は確実。国民に
負担を押し付け、大企業だ
け減税するのがアベノミク
スの正体。賛成。

●「平和安全保障関連法」
の廃止を求める意見書…可
決

〔提出者〕

鈴木議員他4人

〔討論〕

平議員：沖縄県にのみ負担
を強いる日米安保体制は正
常といえるのか。全国民が
考えるべき問題。賛成。

小池議員：紛れもなく憲法
違反の法律。選挙で多数を
とれば何をやってもいいと
いうのは独裁政治への道ぞ
いのもの。賛成。

●環太平洋連携協定（TP
P）交渉撤退を求める意見
書…否決

〔提出者〕

関戸議員他2人

〔討論〕

加増議員：安倍政権の交渉
姿勢は国会決議さえ踏みに
じるもので、国民無視の暴
走。食と安全を脅かし、経
済と暮らしに深刻な影響を
及ぼす。賛成。

平議員：グローバル化が進
められ、私たちは全て大企
業に持っていかれてしま
う。民意を反映しない議員
が権力を握っているのは明
らか。賛成。

●HPV研究促進を求める
意見書…可決

〔提出者〕

石井議員他6人

〔意見書概要〕

HPV（ヒトパピローマ
ウイルス）は、男女共に感

染するウイルスで高リスク
型は子宮頸がん等の原因と
されている。女性への検診
は実施されているが、女性
だけが検診をしているため感
染サイクルは終わらない。

男性への検診方法の確立
やHPV根絶に向けた研究
促進を国に求めるもの。

●情報管理の徹底を求める
決議…可決

〔提出者〕

住民票へのマイナンバー
誤記載事故後、適切な情報
管理がされていない状況が
判明した。再発防止のため
情報管理の徹底を求める。

金澤議員他5人

〔討論〕

関戸議員：人的配置も含め
て情報流出を抑えるための
措置が必要だが、そもそも
担当課で管理は無理。決議
を出すよりマイナンバーを
やるべきでない。反対。

市村議員：マイナンバー誤
記載事故はシステムの更新
作業で起きた問題。検証作
業の必要性を広く職員に理
解させ、管理体制システム
構築を。賛成。

平議員：マイナンバーの情
報漏えいにより、罪に問わ
れる可能性があるため、あ
れば、初めからそのように
たわねるべき。法律で新た
に締め付けられる。反対。

皆さんの希望です

陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べる制度です。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。議会への提出には議員の紹介を通過して行います。陳情は、議長が必要と認められたものについては、請願と同等に取り扱うことになっています。（今定例会には請願は提出されませんでした。）

●出産祝い金配布に関わる陳情：趣旨採択

第二子以降の誕生に際し、10万円の出産祝い金を支給することを求めるもの。

〔提出者〕

齊藤たかし氏他131人

〔討論〕

鈴木議員：子育てするなら取手と願っての陳情。思い切った若者世帯への施策を。陳情そのものに賛成。

川又議員：鈴木議員と同じ考え。趣旨採択ではなく、陳情そのものに賛成。

山野井議員：金銭的な支援はいいことだが、祝い金にこだわらず広く考える必要がある。趣旨採択とすることに賛成。

●歩道改修に関わる陳情（バリアフリー取手 歩道調査）：趣旨採択

市内全歩道の実状を調査及び結果に基づく歩道改修工事を求めるもの。

〔提出者〕

齊藤たかし氏他1029人



光風台幼稚園前の歩道

〔討論〕

遠山議員：賛同者の署名を重く受け止めるべき。生活道路、歩道の改善を求める立場から陳情に賛成。

山野井議員：歩道の改修は必要だが、予算や時間的にも大変。区画整理に伴う新設で道路をきれいにし、危険箇所を直していく形がいい。趣旨採択に賛成。

●小学校新入生にランドセルを贈る陳情：不採択

市立小学校の全新入生にランドセルを贈ることを求めるもの。

〔提出者〕

齊藤たかし氏他121人

〔討論〕

山野井議員：6月議会でも不採択になっている。購入補助金制度なども検討すべき。反対。

川又議員：ランドセルは画一的なほうが皆平等でいじめの原因にならない。賛成。

市村議員：小学校のこころ体格が大きく、皆と別の上履きだったが、いじめられることはなかった。画一的に贈ることに関しては反対。

鈴木議員：憲法26条で義務教育の無償がある。ランドセルも学用品で無償にすべき。賛成。

●陳情書趣旨採択について、政策提言として議案化することを求める陳情：不採択

子ども達の放射能被ばくに対する集団健康診断実施を議案化し、議会で意思決定することを求めるもの。

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

平議員：放射能被ばくに関しては、前の選挙で確かに約束している。空間線量の測定は役に立たない。賛成。

飯島議員：これまで計7回、健康診断を求める請願、陳情が提出され、審議してきた。議会はその責任を明確にすべき。賛成。

渡部議員：事故当時18歳未満全員を対象として、無期限に毎年検査をするのは余りにも大きな負担。反対。

池田議員：甲状腺検査を実施している北茨城市では、その事業費が国から補助されている。健康調査は実施すべき。賛成。

鈴木議員：北茨城市ではすべて自主財源で賄っていたところ、国の補助金がついた。返ってくるのだから市も検査を実施すべき。賛成。

●藤代駅南口駅前広場改修に関わる陳情（バリアフリー取手 藤代駅南口駅前広場）：不採択

藤代駅南口駅前広場の改修、一般送迎車の安全保持及び身障者用駐車場の駅前への移設を求めるもの。

〔提出者〕

齊藤たかし氏他1028人

〔討論〕

遠山議員：陳情内容は実態から全くそのとおり。区画整理事業は完了しているが、行政は一つ一つ改善を図っていくべき。賛成。

山野井議員：ハード面を直すよりも、警察との連携などソフト面の充実が先ではないか。反対。

池田議員：藤代駅南口は非効率的な構造だと思ってるが、現時点での改修は反対。北口整備に全力を注ぐべき。反対。

〔討論〕

平議員：マイナンバーは秘密保護法と連動している。そんな状況下で仕事が必要だと思えない。賛成。

●マイナンバー制度中止に関する意見書の提出を求める陳情：不採択

〔提出者〕

坂巻弘始氏

どうなった？採択した請願・陳情

平成27年3月から9月までに議会が採択し、市に対応を求めて送付した請願・陳情について、次の報告を受けました。

件名	処理状況の概要
井野台四丁目市道3276号線、市道3342号線及び市道3349号線道路改良要望に関する請願 (3月23日採択)	補正予算化し、今年度から順次3路線を整備。今後とも要望者である市政協力員と協議し、事業を進めていく。
藤代駅前ロータリーに関わる陳情 (陳情事項1) (6月11日採択)	暫定措置として、バスと一般車両の停車スペースを明示する区画線の設置を平成27年中に実施予定。今後、整備計画に基づき、駅北口交通広場整備を進めていく。
平和友好要請書 (9月17日採択)	毎年7月、8月に藤代駅・取手駅ギャラリーにおいて原爆パネル展示の平和事業を実施。また、昭和60年に非核兵器平和都市を宣言し、意思を表明している。
政治倫理に関するコンプライアンスについての陳情 (陳情事項3) (9月17日採択)	平成27年第4回定例会にて、「取手市政治倫理条例の一部を改正する条例について」が可決され、今後、原則公開の会議にしていくことに決定。

平成27年第4回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。
議長（佐藤隆治議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

種別	件名	議決結果	会派名、議員名及び賛否の別																											
			賛否数		創世クラブ					日本共産党					はやぶさ				公明党		維新の党	鴻志会	志正会	彰考会	とりで生活者	民主党				
			賛	反	石井	川又	山野	吉田	入江	佐藤(隆)	小池	関戸	鈴木	遠山	加増	岩澤	渡部	金澤	佐藤(清)	赤羽	落合	染谷	阿部	齋藤	市村	倉持	結城	飯島	池田	平
市長提出	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	19	6	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	職員定数条例及び証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正	可決	24	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	税条例等の一部改正	可決	19	6	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	介護保険条例の一部改正	可決	19	6	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	都市公園条例の一部改正	可決	20	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業委員会の委員の定数等を定める条例の一部改正	可決	19	6	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	第六次総合計画の基本構想	可決	20	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定管理者の指定	可決	20	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算（第4号）	可決	20	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部改正	可決	20	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	議会基本条例の一部改正（会派は2人以上）	否決	14	11	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	
	議会基本条例の一部改正（会派は個人も認める）	否決	12	13	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	
	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書	可決	14	11	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	
	消費税10%への増税中止を求める意見書	可決	13	12	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	
	環太平洋連携協定（TPP）交渉撤退を求める意見書	否決	12	13	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
陳情	情報管理の徹底を求める決議	可決	19	6	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	出産祝い金配布に関わる陳情	趣旨採択	18	7	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	小学校新入生にランドセルを贈る陳情	不採択	7	18	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	陳情書趣旨採択について、政策提言として議案化することを求める陳情	不採択	12	13	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	HPV検診を男性に対しても実施すること及び関係機関への意見書の提出を求める陳情（事項1：男性へのHPV検診の実施）	不採択	9	16	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	
	〃（事項2：関係機関への意見書の提出）	採択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歩道改修に関わる陳情（バリアフリー取手 歩道調査）	趣旨採択	19	6	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	藤代駅南口駅前広場改修に関わる陳情（バリアフリー取手 藤代駅南口駅前広場）	不採択	6	19	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	マイナンバー制度中止に関する意見書の提出を求める陳情	不採択	8	17	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	
	取手市、第三期「100人委員会設置」についての陳情	不採択	5	20	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
学区再編に伴う「地区協議会設置」についての陳情	不採択	5	20	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

会派名：彰考会=彰考会@取手、とりで生活者=とりで生活者ネットワーク

以下の議案等は、全員賛成で可決、承認、同意、採択と決しました。

○市長提出議案

（可決）行政組織条例・職員の再任用に関する条例の一部改正、町及び字の区域の変更、市道路線の認定、国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険特別会計補正予算

（承認）一般会計補正予算の専決処分

（同意）教育委員会委員の選任（山下正路氏）

○議員提出議案

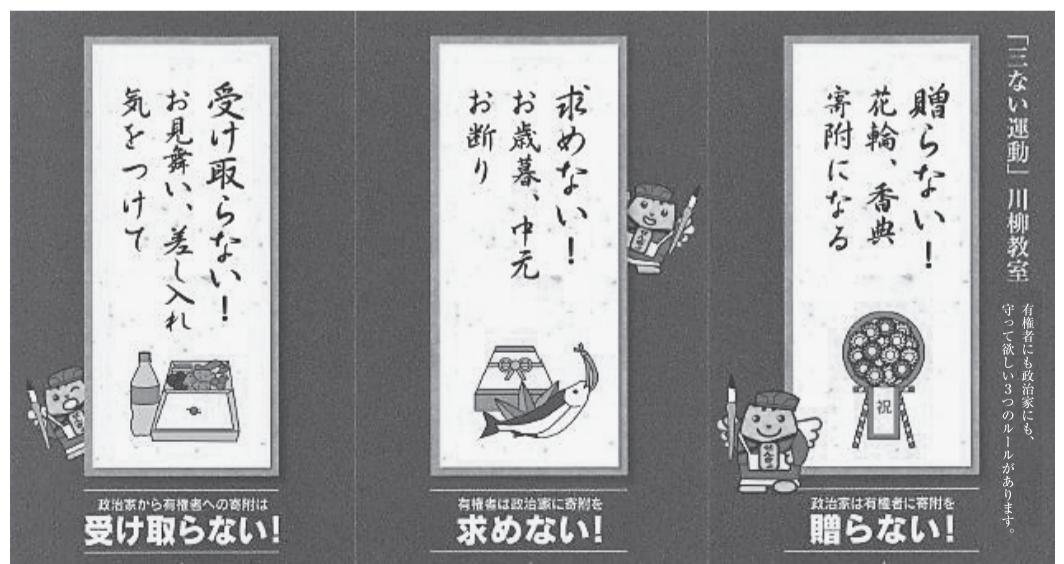
（可決）政治倫理条例・議会会議規則・議会委員会条例の一部改正

○意見書案

（可決）HPV研究促進を求める意見書

○陳情

（採択）野々井地区市道の雨水排水対策に関する陳情



1月24日は市議会議員選挙! みんなで投票に行こう!